



機械クラブだより ー第 22 号ー

2022 (令和 4) 年 9 月 1 日

◎ ご挨拶	2
機械クラブ会長 M ²¹ 玉屋 登	
◎ 機械クラブ会則第 3 条 (構成) の改正について	2
◎ 機械工学専攻の近況	4
◎ 2022 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 開催報告 (2022 年 6 月 4 日)	4
◎ 2022 年度「先輩は語る」講演会 開催報告 (2022 年 4 月 28 日)	6
「新入生へ伝えたい 3 つのこと」	
キャタピラー 佐藤 有香理 氏 (M(62))	
ー 併催：機械クラブ国際活動奨励賞報告会 ー	
◎ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG) 報告	
● 第 182 回コンペ報告 (2022 年 4 月 8 日)	7
● 第 183 回コンペ報告 (2022 年 7 月 8 日)	8

2022 年機械クラブ年会費納入者名簿 (中間報告) 別冊

◆ 機械クラブホームページのご案内 (URL : <http://ktcm-kobe.com/>)

機械クラブでは活動のようすを会員の皆さまにお伝えするため、ホームページに、各種行事の案内 および開催報告、クラス会報告に加えて、卒業生の方々による寄稿文を掲載しております。また、「機械クラブだより」のバックナンバーもご覧いただけます。神戸大学学歌、神戸高等工業学校校歌、寮歌など、紙面ではお伝えできない情報も充実しております。掲載情報を随時更新しておりますので、ホームページもご覧ください。

◆ E メールアドレス登録のお願い

機械クラブの活動状況はホームページでお知らせしています。E メールアドレスを登録いただきますとホームページの更新情報をいち早くご覧いただくことが出来ます。また、KTCからの各種案内もお届けします。この度、機械クラブホームページに「メールアドレス登録・変更」ボタンを設置し、手続きを簡素化しましたので是非ご利用ください。なお、従来通り機械クラブまでご連絡をいただいても結構です (メールアドレス : ktcm@ktcm-kobe.com)。また、年会費の払込用紙に E メールアドレスを記載して頂いても登録いたします。

◆ 財務部会からのお願い

年会費は **2000 円** です。複数年分 (5 年分等、任意期間可) の納入が払込手数料等の経費節約になりますので、できればよろしくお願ひします。会計年度は毎年 1 月から 12 月です。納入方法については別冊をご覧ください。

◆ 2022 年度行事のご案内

- 10 月 14 日 (金) 機械クラブゴルフ同好会第 184 回コンペ 東条の森 CC・東条コース
- 10 月 29 日 (土) 神戸大学ホームカミングデイ 菅野公二教授による講演会を予定
同時開催：学生フォーミュラ、レスキューロボ活動報告
- 11 月 12 (土), 13 日 (日)
六甲祭 六甲祭協賛講演会は今年度開催せず、ホームカミングデイにおいて講演会を企画しております。
- 12 月 3 日 (土) 第 2 回理事・代表会
「若手研究者は今」講演会 石田駿一 助教による講演を予定
- 3 月 24 日 (金) 総会

◆ ご挨拶

機械クラブ会長 M②玉屋 登



3月25日の総会で会長職を賜りました玉屋です。よろしくお願いいたします。

日頃は機械クラブの活動にご理解ご支援・ご協力を頂きありがとうございます。

機械クラブは会員に密着する縦と横の糸を結ぶ力が働く場であり、縦の糸は先輩から後輩の年代を跨ぐ会員を結び、横の糸は同期の会員を結びます。この結ぶ力を比喩的に表現しますと、宇宙創成期に生成されたとされる4つの力(強い力、弱い力、電磁気力及び重力)のうち「重力」に相当します。重力は、どのように遠くても結ぶ力が働きます。

コロナ禍は2020年4月7日の緊急事態宣言から始まり、2年が経過しており、この期間の機械クラブ活動に大きな影響を与えました。総会は、対面とZoomのハイブリッド方式で開催され、同日午後に行われた学位記授与式での機械クラブ特別賞などの表彰、4月8日の入学ガイダンスにおける機械クラブの紹介とKTC入会案内は、出席者全員がマスク着用でしたが、2年前と異なり対面方式で行われました。また、本年度の機械クラブ行事では、4月8日の親睦部会活動(対面)、5月11日の講演部会活動(ハイブリッド方式)で行って頂き、関係者の皆様に感謝申し上げます。未だコロナ禍は収束せず、コロナ禍前の状況には至っていませんが、ワクチン接種も進められ、重症化率も低くなっており、ウイズコロナの時代に移っているのではないかと思います。

このような状況を踏まえて機械クラブ活動を進めることとしています。会員の皆様には、ご理解を頂きながら機械クラブ活動へのご参加とともに次のお願いを申し上げます。

- (1) 部会運営を担う部会員への参加
徐々に高齢化しているので、若手会員の積極的な運営参加をお願いします。
- (2) 会費納入及びご寄付のお願い
各部会活動の事業経費を支える年会費(2,000円)とご寄付の納入をお願いします。
- (3) 会員情報の連絡
連絡先等を変更された場合、機械クラブ(ktcm@ktcm-kobe.com)へ連絡をお願いします。
- (4) 連絡の徹底
クラス会、研究室並びに企業代表の皆様は、ご面倒ですが、機械クラブからの連絡を伝達するようお願いいたします。

今後も機械クラブの活性化に取り組む所存ですので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

◆機械クラブ会則第3条の改正について

神戸大学大学院自然科学研究科の博士課程(博士課程後期課程)が機械工学分野で在籍した修了生(以下、「**博士課程修了生**」)が機械クラブ会員ではないかと会員から意見がありましたので、会則と大学院・工学部組織の設置履歴を比較・照合した結果を以下に述べます。

【会則第3条(構成)について】

現行の会則第3条(構成)を以下に示しますが、改正履歴を確認した結果、同組織の生産科学専攻等の「**博士課程修了生**」は、会則には記載されていませんでした。

第3条(構成) 本会は次の会員で組織する。

- (1) 神戸高等工業学校および神戸工業専門学校の機械科および精密機械科の卒業生ならびにこれに準ずるもの。
- (2) 神戸大学工学部機械工学科ならびに生産機械工学科の卒業生およびこれに準ずるもの。
- (3) 神戸大学大学院工学研究科ならびに神戸大学大学院自然科学研究科の機械工学専攻および生産機械工学専攻の修了者。

【大学院・工学部組織の設置履歴について】

大学院工学研究科・工学部のホームページ掲載の沿革(注)に基づいて機械工学関係の組織設置期間を年表にした図(次頁参照)を作成し、組織の設置履歴と会則の関係を調べました。図の下段の工学部卒業生、その上の大学院の修士課程(博士課程前期課程)および工学研究科機械工学専攻博士課程後期課程の修了生は構成会員ですが、自然科学研究科の「**博士課程修了生**」は構成会員ではなく、次の状況でした。

(注) その他の沿革については、会員から機械クラブホームページに紹介されています。

- (1) 大学院自然科学研究科は昭和56年から26年間設置され、理学・農学・工学を母体とした独立学際組織で工学系に限定されていなかった。
- (2) 同組織の生産科学専攻等の「**博士課程修了生**」は機械、土木、情報知能などの分野で、機械工学に限定されていなかった。
- (3) 神戸大学大学院の修士課程から進学せず他大学から入学・在籍した「**博士課程修了生**」は工学部に届ける卒業・修了生名簿にはなく、それに基づく機械クラブ会員名簿には記載されていなかったが、当該者が複数名確認された。

この状況から当該者を同窓生である会員にお迎えすべきと考え、会則改正の検討をしています。本件に関するご意見又は当該修了生に関する情報がありましたら機械クラブ(ktcm@ktcm-kobe.com)にお寄せ下さい。会則改正の提案に至る場合には、以上の状況についてご理解をお願いいたします。

文責; M②玉屋 登

神戸大学 機械工学関係 沿革・年表

2022年6月作成 文責:M②玉屋登

和暦		S24	S39	S43	S47	S56	S63	H4	H6	H9	H10/4	H11	H15	H19	H22～現在
西暦		1949	1964	1968	1972	1981	1988	1992	1994	1997	1998	1999	2003	2007	2010～現在
大学院	博士課程後期課程	自然科学研究科				【沿革】 S56/4～H15/10:大学院自然科学研究科(博士課程)設置 (理・農・工の3学部が母体)生産科学・物質科学・システム科学・資源生物科学・環境科学の5専攻 H10/4～H15/10:博士後期課程システム科学と資源生物科学の2専攻を廃止し、構造科学と資源エネルギー科学の2専攻を設置 H11/4:博士後期課程生産科学と資源生物科学の2専攻を廃止し、構造科学と生命科学の2専攻を設置						【沿革】 H15/10～H19/4:神戸商船大学との統合に伴う第3次改組により、博士後期課程を10専攻に改組 数物科学、分子物質科学、地球惑星システム科学、情報・電子科学、機械・システム科学、地域空間創生科学、食料フィールド科学、海事科学、生命機構科学、資源生命科学の10専攻			
			生産科学など11専攻				資源エネルギー科学専攻など		機械・システム科学専攻など						
	工学研究科												【沿革】 H19/4:大学院自然科学研究科改組により工学研究科(博士・前期/後期課程)を設置 (建築学、市民工学、電気電子工学、機械工学、応用化学、情報知能学の6専攻)		【沿革】 H22/4:大学院工学研究科情報知能学専攻改組により、システム情報学研究科(博士・前期/後期課程)を設置(システム科学、情報科学、計算科学の3専攻)
		機械工学専攻													
	博士課程前期課程	自然科学研究科								【沿革】 H6/4:大学院工学研究科修士課程11専攻を大学院自然科学研究科5専攻に改組 (建設学、電気電子工学、機械工学、応用化学、情報知能工学)					
			機械工学専攻												
		工学研究科	【沿革】 S39/4:大学院工学研究科(修士課程)を設置 (建築学、電気工学、機械工学、土木工学、工業化学、計測工学の6専攻) S47/4生産機械工学専攻設置									機械工学専攻			
														機械工学専攻	
生産機械工学専攻															
工学部	【沿革】 S24/5:神戸大学工学部発足 (建築、電気工学、機械、土木、工業化学の5学科) S43/4:生産機械工学科設置					【沿革】 H4/4:工学部 既設の11学科と共通講座を大講座制の5学科に改組 (建設、電気電子、機械、応用化学、情報知能の5学科)】									
	機 械 工 学 科					機械工学科									
	生産機械工学科														

出典:神戸大学 大学院工学研究科・工学部 沿革

注:本年表は、機械クラブ会則第3条に定める組織の設置履歴を確認するため作成した。

◆ 機械工学専攻の近況

機械工学専攻長 M③⑥ 浅野 等

大学での講義はほぼ全て対面となり、昼食時には食堂に行列ができ、キャンパス内の学生数は増え、コロナ禍前の通常に戻りつつあります。一方、学術講演会は、対面開催されるケースが増えていますが、第7波の感染者数増大もあり、リモートでの参加も可能とするハイブリッドが定着する様子でもあります。全ての講演会が対面となり、学生が対面講演できるようになることを願っています。

機械工学専攻の現在の体制を紹介致します。2021 年度末に材料物理講座 藤居義和先生が定年退職され、システム設計講座 佐藤隆太先生が名古屋大学の特任教授に異動されました。学内では、先端機能創成学講座 菅野公二先生が本学未来医工学研究開発センター教授に昇任されました。菅野先生には、機械工学専攻兼任として講義、学生指導を担当頂いております。また、システム設計講座 西田勇先生が准教授に昇任されました。機械事務では坂口悦子様が 2021 年度末に退職され、4 月より朝岡美紀様に就いて頂いております。現在の構成表を p. 4 に示します。

教育研究活動では、工学研究科・システム情報学研究科の「研究シーズ集」が発行されました。工学研究科ホームページから自由に閲覧いただけますので、是非ご覧ください。(研究シーズ集 URL : http://www.eng.kobe-u.ac.jp/wp-content/themes/kobe-u/images/index/kobe_seeds2021.pdf) また、機械工学専攻では、5 月 14 日大学院外部受験生を対象としたオープンキャンパスをオンラインで開催しました。当日の機械工学専攻の全体説明動画、各教育研究

分野の紹介動画を機械工学専攻ホームページ (<http://www.mech.kobe-u.ac.jp/admission/exam.html>) で公開しておりますので、こちらもぜひご覧ください。

昨年度、本学工学部は創立 100 周年を迎え、コロナ禍で延期されていた記念式典・工学フォーラムが 9 月 7 日に開催されます。現在、記念誌を編集集中であり、工学部の歴史、現在の教育研究活動に加えて、名誉教授の先生方、卒業生の方々のメッセージを掲載予定です。年度末には発行される予定です楽しみにしてください。

今後とも機械工学専攻の教育・研究活動にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆ 2022 年度第 1 回理事会・代表会報告

M⑩ 谷 民雄

開催日時：2022 年 6 月 4 日(土) 10:00～12:00

開催場所：工学研究科 5W-301 教室+Zoom のハイブリッド

出席者：22 名(対面 8 名、リモート 14 名)

議事概要：

1. 会長挨拶

本日は、お忙しいところ、ご出席頂きありがとうございます。いつも機械クラブ活動にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

コロナ禍は 2020 年 4 月 7 日の緊急事態宣言から始まり、2 年間経過しており、この期間の機械クラブ行事に大きな影響を与えました。その後、今年の 3 月 25 日の総会は、対面と Zoom のハイブリッド方式で開催され、同日午後に行われた学位記授与式での機械クラブ特別賞などの

◆ 機械工学専攻 構成表

(2022 年 4 月 1 日現在)

(機械工学専攻 HP : <http://www.mech.kobe-u.ac.jp/index.html>)

講 座	教育・研究分野	教 授	准教授	助教・助手	技術職員，事務職員など	
熱流体	先端流体工学 (MH-1)	今井 陽介	片岡 武	石田 駿一	芳田 直征	松岡 香江 朝岡 美紀
	混相流工学 (MH-2)	富山 明男	林 公祐	栗本 遼		
	エネルギー変換工学 (MH-3)	浅野 等	村川 英樹	杉本 勝美		
材料物理	構造安全評価学 (MM-1)	阪上 隆英	塩澤 大輝	小川 裕樹	古宇田 由夫	
	破壊制御学 (MM-2)		田川 雅人 田中 拓	<u>横田 久美子</u>		
	構造機能材料学 (MM-3)	田中 克志	長谷部 忠司	寺本 武司		
システム 設計	機能ロボット学 (MA-1)	横小路 泰義	田崎 勇一	永野 光	片山 雷太	
	センシングデバイス学 (MA-2)	神野 伊策	肥田 博隆	権 相曉		
	生産工学 (MA-3)	白瀬 敬一	西田 勇			
先端機能 創成学	ナノ機械システム工学 (MI-1)	磯野 吉正 菅野 公二*		上杉 晃生	中辻 竜也	
	材料設計工学 (MI-2)	向井 敏司*		池尾 直子		
工作技術センター		技術職員：大槻 正人，吉田 秀樹，義澤 康男，中辻 秀憲，大和 勇一				

*：未来医工学研究開発センター

表彰、4月8日の入学ガイダンスにおける機械クラブのご紹介とKTC入会案内は、学生諸子他出席者全員がマスク着用、対面方式で行われています。

未だコロナ禍が収束せず、機械クラブ行事を全面的に対面方式で行うには至っていませんが、各部会、支部におかれては、状況をみてハイブリッド方式などの開催方法を採用するなどご検討頂ければと思います。

後ほど総務部会長から行事予定の説明がありますが、9月にKTC代議員選挙管理委員会規程により各単位クラブにKTC代議員選挙管理委員会の設置を告示する予定で、機械クラブにおいても同委員会を告示前の8月に設置予定です。委員の選任を行いますので、その節はご協力をお願いします。

機械クラブ活動の活性化は従来から課題になっております。会員が参画する縦と横の糸が結ばれる場が機械クラブであり、やはり横の糸を結ぶ同期同窓会の集まりが基本であります。未だ開催されていない同期の方には、声をかけていただき開催を呼びかけることを是非ともお願いします。また、会長就任後新たな課題も分かっています。

ご承知のように、2021年は神戸大学工学部創設100周年で本年9月には記念式典が開催されます。機械クラブは96周年です。会長就任を賜った直後、会員からのご意見もあり、機械クラブ会員である卒業生・修了生が巣立った大学院と工学部機械工学科の履歴を調べました。

昭和56年(1981年)から26年間にわたり、理学・農学・工学の各部を母体とする学際的な組織である博士課程の大学院自然科学研究科の時代がありました。この期間に他の大学から博士課程に初めて入学して機械工学分野で3年間の研究期間を経て修了された方が、少数ではありますが確認されて、機械クラブ会員ではなかったことが分かりました。このような方には機械クラブ会員に相応しいのではないかとの会員のご意見があり、この対策として、機械クラブ会則第3条を改正して、新規会員としてお迎えしたいとおります。現在、会則改正案について検討しており、次回12月の理事・代表会に改正案をお諮りし、来年3月の総会で承認を頂きたいと思っております。その節はよろしく願いたします。機械クラブの活性化が大きな課題ですので、各部会におかれては、各行事を進めていただきたくよろしくお願いいたします。また、活動を支える会費納入と寄附をよろしくお願いいたします。

2. 議事

2022年度各部会推進状況報告

[資料(機械クラブホームページに掲載)にもとづき各部会長/代行者より報告]

- (1) 総務・HP 学生の自主活動に対する支援金をフォーミュラーとレスキューロボに贈呈。Zoomによるテレ会議を同期会にも活用していただく。新入学生に対して機械クラブの紹介とKTCの入会勧誘への説明。
- (2) 財務 2022年5月23日現在の収入; 年会費納入者-複数年既納者 304名、今年の納入者 67名で年会費収入 742,000円(予算 1,008,000円)、寄付を頂いた方-8名 合計 67,000円 KTCからの交付金 135,000円。
- (3) 機関誌 機関誌95号(2022年9月)の編集。中。「わが社の技術」には島津製作所(95号)、川崎重工業(96号)に依頼予定。工学部100周年記念事業は、96号に掲載。「機械クラブだより」第22号の編集
- (4) 講演会 「先輩は語る」講演会5月11日(水)実施。講師: 佐藤有香理氏(キャタピラー)(演題: 新入生に伝えたい3つのこと) 同時開催: 学生の国際活動報告: 木村剛基君、辻健太君。卒業生は代行報告のみ。
- (5) 見学会 今年度見学会については、コロナ禍のため中止。
- (6) 会員親睦 第182回(4月8日)東条の森CC・宇城コースで開催し、17名参加した。New faceが3人(M21、25、26)と若返りの兆しが見えます。
- (7) 座談会 5月中旬に予定していた「第8回基幹座談会」は延期とし、8月以降、工学部において対面実施すべく検討中。「第6回機械技術者生活を語る座談会」は、今年度の開催を見送る予定。
- (8) クラブ精密 会員高齢、少人数のため休会。
- (9) 東京支部 第1回幹事会を2022年5月24日に対面で実施した。東京支部総会は、準備期間を考慮し、9月頃にZoom併用で実施することとし、今後、会場の確保、神戸との調整、講演者の確定等を進めていく。東京支部見学会は11月頃実施で検討中。

3. KTC代議員選挙管理委員会設置について(玉屋会長)

9月にKTC代議員選挙管理委員会規程により各単位クラブにKTC代議員選挙管理委員会の設置を告示する予定で、機械クラブにおいても同委員会を告示前の8月に設置予定です。委員の選任を行いますので、その節はご協力をお願いします。

4. 機械工学専攻の近況

浅野等機械工学専攻長より学科構成、教職員の異動、今春卒業・修了生の進路状況が報告された。

5. KTC の近況 (白岡克之理事)

[資料は機械クラブホームページに掲載]



(左から) M(53)伊藤, M(19)山岡, M(14)白岡, M(36)浅野, M(21)玉屋, M(18)谷, M(18)平田, M(12)國光
2022 年度機械クラブ第 1 回理事・代表会 集合写真

(1) 今年度の社員

総会は 2022 年

5 月 13 日楠公会館にて、感染対策に配慮しながら対面開催された。52 名の出席者のもと、2022 年度定時社員総会、講演会、懇親会が無事に開催された。

(2) 新型コロナ感染拡大により学生の海外研究発表費用支援、外国大学の学生受入費用支援などが無くなり、支出が予算より約 324 万円減少した。事業活動収入 3,875 万円、事業活動支出 3,309 万円、収支差額 566 万円、正味財産 28,811 万円。

来年度予算は今年度と同様に計上し、事業活動収入 3,333 万円、事業活動支出 3,097 万円、収支差額 236 万円の予定。援助金の対象を、学生フォーミュラーやレスコンのような学生活動支援、博士課程後期課程の奨学金制度の拡大、若手研究員の研究費の援助にも拡大する。

(3) 工学部 100 周年記念事業に対し、会館建設引当金を取り崩して 3,600 万円寄付する。大学や KTC が利用できるセミナールームを現在の KTC 事務局の 1 階に設置する予定。

(4) 理事役員の変更: 理事辞任: 平田明男氏、理事就任: 玉屋 登氏

(5) 社員総会後の講演会 講師: 工学研究科長 小池淳司教授、演題: 大学工学教育のビッグピクチャー。

(6) KTC の就職支援 昨年と同様に就職支援を行う予定。「インターンシップ企業合同説明会」を 5 月 30 日に神大六甲ホールで開催。企業参加はオンライン 20 社、対面 17 社の予定。

「キャリアセミナー」は zoom によるオンライン方式で開催。ブレイクアウト機能を活用し OB・OG とグループディスカッションを行っている。2022 年 10 月～11 月に 13 回業種別に開催する予定。さらに昨年度と同様に今年度も 12 月に理系女子の就職ガイダンスも検討する。

「きらりと光る優良企業」は時期を早めて 1 月と 2 月の 2 回実施する予定。2023 年 1 月 17 日～1

月 19 日 (3 日間)、2023 年 2 月 27 日～3 月 2 日 (4 日間)。

◆ 2022 年度「先輩は語る」講演会

併催: 機械クラブ国際活動奨励賞報告会、

講演会部会長 白瀬 敬一 M(30)

開催日時: 2021 年 4 月 28 日 (水) 8:50～10:20

開催場所: 神戸大学百年記念館 六甲ホール

司 会: 白瀬 敬一 教授

◎ 「先輩は語る」講演会

講師: 佐藤 有香理 氏

(キャタピラー)

演題: 「新入生へ伝えたい 3 つのこと」

略歴:

2014 年 3 月 神戸大学工学部
機械工学科卒業

2016 年 3 月 神戸大学大学院工学研究科
修士課程修了

2016 年 4 月 キャタピラー入社

講演内容:

講演の初めに佐藤氏のご略歴が紹介された。佐藤氏は 2016 年にキャタピラー入社後、機体制御設計課、ソフトウェア設計課にて油圧ショベルの制御、ソフトウェア設計およびシステムロジックの開発に携わってきたことが紹介された。現在は、電動ショベル開発チームにてバッテリー温度管理システムの開発に携わられていることが紹介された。入社後、海外の部署とも連携して業務に携わってきたこと、海外へ出張する機会もあったことが紹介された。続けて、事前の学生へのアンケート結果を交えて、佐藤氏が機械工学科を選択した理由について説明をいただいた。ものづくりが好きということ、ロボットを作りたいということ、車が好きということなどが動機とのこ



とだった。学生時代は、部活ではオーケストラに所属し、サークル活動では、ロボット研究会六甲おろしに所属するなど充実した日々を過ごすことができた。社会人になった今でも、会社とは関係なくプライベートで工作をしているなどものづくりへの情熱を語っていただいた。

次に、事前の学生へのアンケートで質問にあった学生時代での履修単位の不安について、その回答を交えてお話いただいた。佐藤氏は学生時代、興味の有無に関わらず、開講時には一度授業に出席してみて、少しでも興味が持てた講義はすべて履修していたとのことだった。卒業に必要な最低限の単位数を目標にするのではなく、興味のありそうな講義は積極的に履修していくのがよいとお話をいただいた。学生時代にできるだけ多くの授業を履修していたことが、社会でも大いに役に立っているとのことだった。社会に出ると、知っていることだけで業務をこなせることは少なく、知らないことも自分で調べて進めていくことが多く、実際の仕事では知らないことをどう解決するかが求められることが多い。その際に、全く手掛かりがなく調べるのと、ちょっとしたキーワードを知っているのとでは、調べる効率が大きく変わることだった。ものづくりの世界では機械工学で学ぶ多くの知識が必要とされており、学生の間にできるだけ多くのことを吸収してほしいとのことだった。他には、大学は多様な考え方を持った人が多く在籍しているため、多様な考え方を受け入れる下地を作ることの重要性、英語でのコミュニケーションの重要性をお話された。

最後に、新入生に伝えたいこととして、3 つのことをお話された。1 つめは、得た知識が何に繋がっているかを意識すること。2 つめは、いろんな知識の種をまいておくこと。3 つめは好きなこと、夢中になれることを見つけること。これらを意識して有意義な大学生活を送ってほしいとの思いが伝えられた。

本講演が学生に大変刺激を与えたものだったに違いないだろう。

◎ 機械クラブ国際活動奨励賞報告会

2021 年度受賞者（所属学年は受賞当時）

大崎 侑 君（大学院博士課程後期課程 3 年）
 沢口信介 君（大学院博士課程前期課程 2 年）
 岸上俊介 君（大学院博士課程前期課程 2 年）
 木村剛基 君（大学院博士課程前期課程 1 年）
 辻 健太 君（大学院博士課程前期課程 1 年）

報告内容：

「先輩は語る講演会」とともに機械クラブ国際活動奨励賞報告会が併催された。まず、木村君、辻君から参加した学会の様子や、学会にて発表した研究内容の紹介が行われた。沢口君、岸上君、大崎君については、当日参加できなかったため、

預かった資料の紹介を白瀬教授から行われた。いずれの報告でも、コロナ禍でのオンライン開催とのことであったが、国際会議の雰囲気を伝えるための工夫があり、また、学部・修士と努力することにより国際会議での発表のチャンスをつかめる、という点が強調されていた。学生生活を楽しみながら、弛まぬ努力を、という先輩学生たちからのメッセージであった。



木村 君



辻 君

◎ 学生自主活動支援金贈呈

最後に学生自主活動支援金贈呈が行われた。機械クラブ玉屋会長から学生フォーミュラチーム (FORTEK) およびレスキューロボットチーム (六甲おろし) に対して、支援金が贈呈された。

◆ 機械クラブゴルフ同好会 (KTCMG) 報告

1. 第 182 回コンペ報告

コロナ禍も 2 年越し、ロシアのウクライナ侵攻も 2 ヶ月に及び心が沈む日常ではありますが、KTCMG は会員相互の親睦を高め、絆を強くしていきたいと考えております。今回は、直前辞退者は 1 名にとどめ、久しぶりの青天下でプレーすることができました。

結局 New face が 3 人、更にご婦人 1 名も加え計 17 名の参加となり数年来の賑やかさでした。

(2022 年 4 月 8 日現在、M24 以降の若手登録者は 9 名となり若返りが順調です)

結果概要

開催日：2022 年 4 月 8 日

場 所：東条の森カントリー倶楽部・宇城コース

参加者：finisher 17 名（登録時 18 名）

➤ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCCP	NET	新 HDCCP
優勝	菅野 俊	M17	87	24	63	12
2 位	大和 敏郎	M16	87	17	70	12
3 位	松本 啓史	M9	109	35	74	31

参加者のコメント

- ・優勝／菅野 俊 氏：KTCM 会長交替のタイミングで優勝カップが獲りきりとなり幸運です。最近好調で、飛距離もキープできてるようで次回以降も頑張りたい。
- ・初参加／吉川彰 氏：大阪貝塚市在住。P1（中川研究室）、卒業後は車輪メーカーのリンテックス㈱でした。

- ・初参加／中谷彰宏 氏：姫路広畑在住で、M5(熱力) 松本研究室で、住友ゴム入社タイヤ設計、海外駐在(英国では高橋久雄氏と)の経験。現在、被災地福島県相馬市の支援をリモートでやっています。
- ・初参加／平尾雅男 氏：奈良市在住。P2(M⑫)で赤川研究室でした。三機工業㈱で活躍。今は年金生活者でゴルフ、バイクツーリングが趣味です。

今後の活動活性化のため、各位に「若手機械OBへの声掛け」を依頼しました。

初参加の方々に前回準備した KTCMG'ロゴ入りボールを配布。



(後列左から)M③長谷川, M③岩出, M⑤植田, M⑥中谷, M⑨松本, M⑬大和, M⑬市橋
(中列左から) 中瀬古夫人, M②中瀬古, M⑧國光
(前列左から)M⑪平尾, M⑫光田, M⑤吉川, M⑫西下, M⑪菅野
第 182 回ゴルフコンペ集合写真

Ⅱ. 第 183 回コンペ報告

我らが親睦を深めるべく、ゴルフプレーに集中しているさなか、日本の政治家/安倍晋三氏が一命を落とされました。良きも悪しくも日本を引っ張ってこられた故人に追悼の意を表すとともにご冥福を祈ります。

足元を見ればコロナは 2 年半を経過しても収束の兆しは見えず、ウクライナへのプーチン侵攻は終わろうとする意思が見えない。

にもかかわらず、本日は幸いに雨もなく、強烈な日差しもなく、天は我々に最高の条件を与えてくれた。大会参加者として感謝を表したい。

今大会も New Face 1 名、久しぶり参加の長老 1 名を含む 17 名の参加者を数え、盛大に開けました。感謝！

結果概要

開催日：2022 年 7 月 8 日

場 所：東条の森カントリー倶楽部・大蔵コース

参加者：finisher 17 名

➤ 上位入賞者の成績

順位	氏名	回生	GRS	HDCP	NET	新 HDCP
優勝	岩出 知之	M③	77	10	67	4
2 位	國光 秀昭	M⑧	91	24	67	16
3 位	西下 俊明	M⑫	90	21	69	16

参加者のコメント

- ・優勝／岩出知之 氏：KTCMG に参加し 1 年余りになりますが、今日のスコアはベストでした。たくさんの先輩と回れること、楽しみにしています。(幹事の気持ち:BestGross も考えたい)
- ・New Face／山路洋行 氏：森脇先生の研究室でした。卒業後ダイキン工業で勤務。本日の参加者の中では、岩出氏、長谷川氏が同期(M③)です。
- ・久しぶり参加／永島忠男 氏：同期の松本氏から強く参加の誘いがあったので来ましたが、卒業年度の差が 30 年の威勢のいい若手も多くいて楽しかった。ゴルフ部会の活動を応援する。

優勝楯新調:KTCM 会長が交代され新会長 玉屋氏から寄贈されました。



(後列左から)M⑪柄谷, M⑧谷, M⑪平尾, M⑪菅野, M⑨松本, M⑧高橋, M②中瀬古
(中列左から) M⑬市橋, M⑬大和, M⑨永島, M⑧國光
(前列左から) M③長谷川, M③山路, M③岩出, M⑫光田, M⑫西下, 中瀬古夫人
第 183 回ゴルフコンペ集合写真

Ⅲ. 今後の予定

- ・第 184 回:10 月 14 日東条の森・東条コース

【機械クラブだより 第 22 号】

発行所：神戸大学機械クラブ

発行人：会長 玉屋 登

発行日：2022 年 9 月 1 日

所在地：〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学大学院工学研究科

機械工学専攻事務室内

Tel： 078-803-6152

E-mail：ktcm@ktcm-kobe.com

URL：http://ktcm-kobe.com/